

姫川水系濁沢 洪水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)

凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
~0.5m	黄色
0.5m ~ 3.0m	オレンジ
3.0m ~ 5.0m	赤
5.0m ~ 10.0m	赤紫
10.0m ~ 20.0m	紫
20.0m ~	濃紫
河川等範囲	青
浸水想定区域の指定の 対象となる区間	赤線

1. 説明文

- (1) この図は姫川水系濁沢の長野県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の濁沢の河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、濁沢が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体	長野県
(2) 公表年月日	令和4年8月26日
(3) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(4) 対象となる河川	姫川水系濁沢(実施区間) 左岸: 北安曇郡小谷村大字北小谷(一級河川管理区間上流端)から姫川合流点まで 右岸: 北安曇郡小谷村大字北小谷(一級河川管理区間上流端)から姫川合流点まで
(5) 指定の前提となる降雨	濁沢流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
(6) 関係市町村	小谷村
(7) その他計算条件等	氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。 また、計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

